

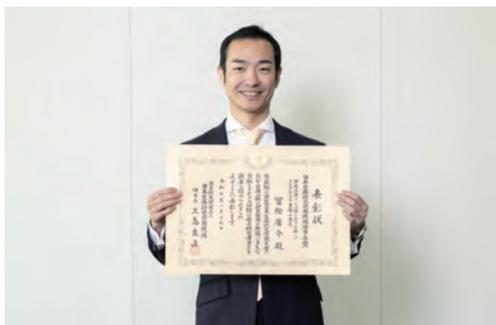
岡山大学 MONTHLY DIGEST

VOL.105
2025.1

TOPICS

1

富樫庸介教授(医)が第7回日本医療研究開発大賞 「日本医療研究開発機構(AMED)理事長賞」を受賞



1月17日、学術研究院医歯薬学域(医)腫瘍微小環境学の富樫庸介教授(岡山大学病院呼吸器・アレルギー内科教授兼任)が、内閣府の健康・医療戦略推進事務局が主催する「第7回日本医療研究開発大賞」において、「日本医療研究開発機構(AMED)理事長賞」を受賞。石破茂内閣総理大臣や城内実健康・医療戦略担当大臣らが参列するなか、首相官邸で行われた授賞式で、AMEDの三島良直理事長から表彰状が授与されました。

今回、富樫教授は「腫瘍浸潤リンパ球における新しいミトコンドリア異常の発見」についての業績が高く評価されました。富樫教授は「このような賞を頂いて大変光栄であるとともに、サポートいただいた方々にこの場を借りて感謝申し上げます。受賞を励みにしてさらに研究も頑張っている所存です」とコメント。今後の研究活動に対しても意欲をみせました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13952.html



TOPICS

2

サンパウロ大学歯学部からの留学生が那須学長を表敬訪問

1月20日、ブラジル・サンパウロ市にあるサンパウロ大学歯学部から訪れた留学生9人と、同大学出身で学術研究院医歯薬学域(歯)のハラ・エミリオ・サトシ研究准教授が、那須保友学長を表敬訪問しました。

留学生は、1月7日から8～12週間、歯学国際交流演習(Okayama University Dental School Short-term-Study-Abroad (Exchange) Program for Undergraduate Students - ODAPUS for foreign students)に参加するため来日。那須学長は、2024年12月ブラジル・サンパウロ市の同大学歯学部等を訪問したことを紹介し、激励の言葉を送りました。

ODAPUSプログラムでは、2001年度から本学歯学部生を国際交流協定校へ派遣してきましたが、2012年度からは双方向の交流を推進する目的で、協定校からの留学生受入を開始しています。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13951.html



Pick up!

教育学部附属小学校の2チームがダンスコンクール全国決勝大会に出場！ 4年生チームが自由振付曲小学生部門で審査員特別賞を受賞！



教育学部附属小学校の4年生、5年生の2チームが、2024年12月26日、オンラインで開かれた第12回全国小・中学校リズムダンスふれあいコンクール全国大会(決勝大会)に出場しました。

規定曲部門に5年は組(チーム名「青春のスピカ」)、自由振付曲部門に4年い組(チーム名「桜」)がエントリーし、自由振付曲部門の4年生チームが審査員特別賞を受賞しました。

同校は、2017年開催の第5回大会から8年連続で全国決勝大会に出場し、今回で5回目の受賞となります。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13905.html



TOPICS

3

岡山大学職員内定者の職場見学会を開催

1月10日、本学は令和7年4月1日採用予定者等の内定者職場見学会を開催しました。

見学会には事務職員等の内定者等計12人(うち6人は採用者)が出席し、那須保友学長から激励を受けました。また、出席者は「アクティブに仕事に取り組んでいきたい」、「常に成長を続けていきたい」と、今後の抱負を述べました。

その後、出席者は本学津島キャンパス内の7つの部署を見学し、先輩職員から業務の紹介を聞くことで仕事への理解を深めるとともに、大学職員となる自覚を新たにされた様子でした。春から一緒に働けることを心待ちにしています。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13938.html



TOPICS

4

「ダイバーシティ&インクルージョンデイズ／Diversity and Inclusion Awareness Days」を開催



ダイバーシティ推進本部では、本学におけるダイバーシティ&インクルージョン(D&I)を推進するため、11月から12月にかけて「ダイバーシティ&インクルージョンデイズ／Diversity and Inclusion Awareness Days」を開催し、D&Iに関するさまざまな取り組みや情報発信を行いました。

やさしい日本語研修をはじめ、グッドジョブセンターの業務体験会やポッチャ大会、合理的配慮に関するオンライン研修などを開催しました。

建設的な対話を通して、その時々状況に応じた合理的配慮を行うことで、障がいの有無にかかわらず、互いにその人らしさを認め合うことが、共生社会の実現において重要です。本学は、今後もD&I推進に対する意識を高め、互いの価値を尊重し合う組織づくりを進めていきます。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13899.html

PRESS
RELEASE重金属を高効率に除去する新しいデトックス材料を開発！
体内の解毒剤として期待！

学術研究院医歯薬学域(歯)生体材料学分野の松本卓也教授らのグループは、骨構成成分であるリン酸カルシウムを用いることで消化器系に侵入したCd(カドミウム)など重金属を高効率に除去できることを明らかにしました。研究成果は1月24日、英科学誌「*Journal of Hazardous Materials*」のオンライン版で公開されました。

研究グループは骨組織の成長過程において骨を構成する無機結晶(リン酸カルシウム)が溶解、分解と安定化を繰り返し、骨形態や骨機能を維持するという働きから、消化器管内でのリン酸カルシウムを用いたCdデトックスを着想しました。この材料を合成、顆粒化しCd含有水を飲ませたマウスに食べさせたところ、リン酸カルシウムは胃内の低pHで溶解し、小腸内の中性pHで再結晶析出を示し、この過程において活性炭よりも高効率、100μg/mlという高濃度のCdであってもほぼ100%除去できること、体内組織へのCd沈着を抑制できることを明らかにしました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id1347.html



松本教授

